

- 問1 欧米列強のアジア進出に対抗するため、日本が掲げた国家目標である、経済力と軍事力を強化する政策を何という？
- 問2 明治政府が欧米の制度を視察し、不平等条約の改正交渉を行うために派遣した使節団を何という？
- 問3 アメリカへの留学を経験し、帰国後に女子英学塾を設立するなど、日本の女子教育の普及と向上に力を尽くした人物は誰？
- 問4 日清戦争の賠償金などを活用して建設された、福岡県の官営製鉄所を何という？
- 問5 1889年に発布された、アジアで初めての近代的な憲法を何という？
- 問6 岩倉使節団が欧米へ派遣された主な目的の一つである、幕末に結ばれた条約の改正を目指す相手先は何という？
- 問7 日英同盟を背景に、日本が朝鮮半島と満州の支配権をめぐって1904年から1905年にかけて行った戦争を何という？
- 問8 足尾銅山の鉱毒被害に対し、国会で何度も政府を追及し、被害住民のために一生をささげた人物を誰という？
- 問9 学制の公布により、身分や性別に関わらず教育を受けられる対象とされたのは誰？
- 問10 明治時代に、銅山の鉱毒によって流域の農作物や住民に甚大な被害を与えた事件を何という？
- 問11 鹿鳴館において、外務卿として中心となって領事裁判権の撤廃を目指す条約改正交渉を進めた人物は誰？
- 問12 足尾銅山鉱毒事件の被害救済のために尽力し、帝国議会で政府を追及した人物が持っていた職業の肩書は何という？
- 問13 足尾銅山鉱毒事件において、政府に対し解決を求めて国会で訴え続けた政治家は誰？
- 問14 明治時代に、日本の伝統的な美術を継承し、新しい芸術を育てるために設立された学校を何という？
- 問15 八幡製鉄所などが発展を支えた、鉄鋼や機械などを作る大きな産業分野を何という？
- 問16 武力による政治改革の試みである士族の反乱が鎮圧された後、言論を重んじる政治へと転換した運動を何という？
- 問17 紡績業の発展により、輸入した原料を加工して製品として輸出する貿易形態を確立するために必要となった、輸入原料を何という？
- 問18 明治時代、日本の重工業発展を支える石炭の主要な産地となった福岡県の地域を何という？
- 問19 日清戦争の賠償金を元手に、日本の重工業発展の基礎として1901年に建設された製鉄所を何という？